



留学生と語り合う No. 87

RKK ニュース (2022 年春号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

新年度を迎えて

For the New Fiscal Year



コロナ禍でも RKK の活動に春を！

Welcome spring to RKK activities during the Covid-19 pandemic !



NPO 法人 RKK 理事長 深水 智明

Tomoaki Fukami, Chairman of RKK (NPO)

今も厳しいコロナ禍の時勢にあり、対面の交流が難しい中、皆様には留学生への支援・交流を絶やすことのなきようリモート方式の利用にも努力され、その利用者も増えています。

昨年度は、オンライン利用によって、支援・交流の状況にも変化が見えました。日本語の1:1個別支援活動では、オンラインの講習会の開催もあり、従来にはできなかった遠隔地間(県外や留学生の母国等)の支援が増えています。一方、グループ活動(文化祭、見学会)は、共に楽しむために留学生をはじめ多くの人々との交流では、現状では開催が難しい面があります。それでもアイデアを巡らし、誌上文化祭(作品集)が催され、この春には初の試みのオンラインお花見会を留学生と共に楽しみました。リモート座禅会への挑戦もあり、また、約20年間の膨大な見学会の記録・写真集では改めて留学生との交流に思いをいたしました。外国語学習では、このコロナ禍でも新たにベトナム語学習会を加え、中国語学習会共々、オンラインで授業が進んでいます。

皆様への“オンライン利用”のアンケート調査では、コロナ禍後にも対面と共にオンライン利用も続くと推察されます。現在も支援や交流の方法を模索し続けています。オンライン利用等、種々の試みから生まれた交流の形、アイデア等を基に活動の転生を期し、自分のために創意・工夫を重ねたいものです。現在、留学生が若干、減少していますが、コロナ後にはまた回復すると信じます。留学生の希望に寄り添い、それに会員の喜びが重なることに意気を感じ、かつ、楽しみながら、ボランティア心を満たしましょう。

Since it is still difficult to communicate face-to-face in this hard time of the Covid-19 pandemic, our online use has expanded by efforts of RKK members to continue our supports and exchanges for international students.

In the last fiscal year, there were changes in our supports and exchanges by using online. In one-to-one personal Japanese support activities, remote supports such as online lectures have increased. These supports for international students living in other prefectures or their home countries could not have been considered before. Meanwhile, it is still difficult to hold group activities which gather people, such as the cultural festival and field trips. Instead, we published “Virtual Culture Festival Works” and held first online events such as the cherry blossom festival and online zazen (Zen meditation) sessions. We also published the photographic record that summarized the 20-year records of RKK field trips, which reminds us of many exchanges with international students. In language studies, Vietnamese language classes are newly held online as well as Chinese language classes.

Online use is expected to continue along with face-to-face contact even post-Covid according to the questionnaire of RKK about online use, therefore, we are constantly seeking ways to support and exchange. We want to anticipate new forms of our activities and develop our own creativity based on new ways and ideas of exchanges born from various attempts such as online use. The number of international students has decreased slightly now, however, we believe it will recover post-Covid. I hope we feel happiness and motivation to be close to the needs of international students while enjoying volunteer.

(Translated by Azusa Sugita)



留学生からのたより

にほん 日本について

よこはまこくりつだいがくだいがくいん
横浜国立大学大学院

クリストファー・ケン・コントレーラ・イブキ(パラグアイ)



みな わたし Paraguay
皆さん、こんにちは。私はパラグアイ
から来たクリストファーと申します。南米
にある国です。私の母は日本人で、父
はパラグアイ人です。

JICA が中南米の日本人の子孫に
支給する奨学金に応募して、日本にやってきました。その
後、横浜国立大学の大学院に入学しました。私は建築家
で、26歳です。私の夢は、母の国で一定期間生活すること
です。幸いなことに、現在その夢が叶いつつあります。

とはいえ、私は大きな日系コミュニティがある国で育った
ので、日本で生活し勉強することがどのようなものか、す
でにある程度のイメージは持っていました。しかし、その
変化はかなり強烈だったというのが正直なところでは
す。

日本に来る前に語学を勉強する機会はありませんでしたが、そ
れでも日々多くの困難に遭遇します。ですから、来日して
すぐに日本語を勉強し直すことにしたのです。大学の
外国人向け講座のおかげで、とても親切でフレンドリーな

日本人ボランティアの方と一緒に授業ができる RKK を知
る機会がありました。この教室では、会話の練習をしたり、
先生の体験談を聞いたり、また、文法についても学ぶこと
ができます。これからも自分の語学力を高めていかなけれ
ばなりません。

私は疑いなく、素晴らしく、秩序正しく、清潔で安全な国
であると感じました。何より時間厳守には毎日驚かされて
います。これらは間違いなく、この国から真似て、私たちの
国で実行すべきことです。

残念ながら、私たちはまだパンデミックの中にいるので、
対面式の授業は難しいのですが、とにかく新しい
テクノロジーを使えば、私たちはバーチャルにつながるこ
とができます。

日本語を熱心に教えてくださる上前先生にお会いできた
ことを、布津さんに感謝しています。

またとない機会ですので、存分に活用させていただきます。



地区からのたより

中央地区交流会たより

中央地区 畔取 孝

中央地区では、オンラインによる第3回地区交流会を
12月19日(日)に開催しました。昨年3月からオン
ラインによる交流会を続けていますが、今回は、岩科さ
んが初めて参加され、久しぶりの親交を楽しむことが
できました。しかし、当地区のオンライン交流会では、参
加者が少ない状態が続いています。そのような状況の中
で、スタッフミーティング用に作成した近況報告がとて
も役に立っています。回数を重ねるごとに報告する方の
人数が増えており、出席者を含めて当地区の16名中1
5名の方から報告をいただきました。そのため、今回の

オンライン交流会では、ZOOM 会議の共有画面を利用し
て、お一人おひとりの近況を皆さんにご披露でき、そ
れぞれのメンバーの思い出を語り合うことができました。

次回の第4回中央地区交流会は、県民センターで開
催したいと思っています。3月21日には、まん延防
止措置の解除が想定され、皆さんも再会を期待してい
ますので、ぜひ対面での交流会をと考えています。

もちろん、皆さんからは近況のご報告をいただくつ
もりです。

グループ活動

社会・工場見学グループ

1999年～2019年まで71回分の見学会の記録をまとめた「社会・工場見学会の記録」を発行しました。すでに皆さんへは4月2日にギガファイル便でお送りしましたが、この度、ホームページへの掲載が完了しました。ご都合の良い時にいつでもご覧頂くことができます。

下のURLをクリックすると接続できます。

http://rkk.world.cocan.jp/pdf/RKK_society_factory_records.pdf

是非ご覧いただき、見学会の再開時には多くの皆様にご参加頂きたくご案内します。



見学会記録集 表紙



見学会記録集 内容の一部



ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しており、新しく留学生支援情報「留学生のための安全対策」の改定版と英語版を掲載しました。併せて「会員のひろば」を通じて、留学生に対する支援、交流体験のほか、コンサート、映画など趣味の情報交換にもご利用下さい。掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス：sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ：<http://rkk.world.cocan.jp/> または で検索

ホームページへのアクセスに、右コードをスキャンして下さい。

広報委員会では会員の皆様からの寄稿をお待ちしております。

広報委員会



グループ活動

中国語学習グループ

中国語勉強会

高崎 直子

春は、別れと出会いの季節。

中国語勉強会もご指導して下さる老師が変わりました。支彤彤老師、ご卒業おめでとうございます！権明老師、これからよろしく願います！

昨年、緑が美しい頃、私は中国語勉強会の仲間に入れて頂きました。先輩の皆さんのお陰で楽しく勉強しています。ここで改めてお礼を申し上げます。

支彤彤老師は作文や必要な表現を拼音付きで Word に打って下さいました。発音指導も丁寧にして下さいました。ありがとうございました。zoom の勉強会で、私はとても忙しく、あっという間に時間が過ぎます。自分の番でない時は、Google 翻訳や手書き中国語のアプリで検索したり。翻訳のアプリは他にもありますが、Google 翻訳が拼音と一緒に出て、読み上げてくれたりもするので重宝しています。翻訳精度はまだまだのようですが、手書き中国語アプリは、わからない簡体字を指で書くと、そのまま検索するこ

とができます。文法も漢字を一文字検索すると、わかりやすい説明のサイトが出てきたり。本当に便利な時代ですね。

今、世界で「漢字」という文字を使っているのは、中国語と日本語だけです。この共通の財産をより深く知っていいなと思っています。皆さんの中国語のシャワーを浴びながら少しずつ学んで行きたいです。権明老師の授業が毎週楽しみです。



文化・ファミリー交流グループ

お花見会

10 年余り続いてきたお花見会もコロナ禍のため昨年、一昨年と 2 年続いて中止を余儀なくされました。

伝統行事を継続させるため zoom によるオンラインお花見会を開催しました。日本人会員 13 人、留学生 6 人が参加し出身国はラオス、ベトナム(2)、ミャンマー、エチオピア、ポリビアでした。

お国紹介、各地の桜の写真、弁当の紹介、桜名所の実況中継など本来のお花見と比ぶべくもありませんが予定の時間を超過し 2 時間半楽しく歓談しました。

来年は本来のお花見ができることを祈って散会しました。

文化・ファミリー交流グループ 徳屋 英生



グループ活動

萩原 敦

文化・ファミリー交流グループ

文化・ファミリー交流グループが月一回メール配信している「交流だより」には「なるほど！ そうだね！」シリーズとして小文を掲載しております。

日本での挨拶のことば

日本語の勉強を始めたばかりのアフリカからの留学生への支援で、ある朝、留学生会館を訪ね、「おはようございます。今日は寒いですね。」と挨拶しましたら、「わかりません。まだ外に出ていません。」との返事でした。確かに、部屋の中に入れば、外の温度はわかりません。日本では、挨拶ことばとして、お天気のことをいいますが、お国によっては通じないかもしれません。日本の習慣として「そうですか？寒いですか？」のような返事をして、挨拶するのがいいよ！と伝えました。

カタカナ英語

町に一步出て、廻りを見渡すと、こんなにもたくさんカタカナが使われていることにびっくりします。ホール、センター、スクール、ストア、ステーション、プール、サロン、クリニック、オレンジ、ジュース、フルーツ、ライス、ホリデイ、ツアー、バス、タクシーなどなど、ほとんどが英語をカタカナで表現したものです。

日本語の勉強を始めたばかりの留学生と一緒に、町に出て、看板に書かれているカタカナを読ませると「アレ！これは英語だね。私にもわかるよ！」と、日本での生活にちょっと自信をもつことができるようです。

日本語教育と文化

「言葉は単なるコミュニケーションの手段というにはとどまらない。日本語を学ぶことは、日本の文化に一步近づくことを意味します」

アメリカ陸軍日本語学校に学んだハーバート・パッシンのお話です。

「私はいくつもの言語を話す、ある言葉からある言葉へと使う言葉を変換すると、自分が人格も身振りも動作もそして頭脳構造の枠組までも、それに合わせて姿を変えてゆくのがわかる」

「日本語を話すたびに、自分はこんなにも礼儀正しい人間になれるものかと、自分で驚いてしまう。こういうことは、英語を話す時には一度も感じたことがない」





日本語個人支援

中国人留学生との交流

北地区 松井 直子

私は昨年の5月から中国の留学生陳紫薇さんと交流をしています。

日本語支援の内容は1週間の中での生活の様子を語り合い、いくつかの新聞記事から彼女が興味を持った記事を選び、お互いに読みあって、分からない言葉の解説や感想を述べあいました。

秋以降からは就職支援の1つとしてESの書き方についての本の中から、「強みを引き出す自己分析」、「ここに響く志望動機」、「会ってみたいと思わせるESの書き方」というタイトルに惹かれて選んだ本を読みあい、自分をアピールする事の大切さを学ぶと同時に社会を知る機会にもなりました。「これは将来役に立つ知識です」と言われた時にはうれしかったです。

今までなら、アルバイトをしながら会得していく敬

語についてもドリルを通してやりました。この分野は私も疎いので自分の勉強にもなり、模範解答を確認するたびに感じるほどお互いに頷き合う場面もありました。

彼女は日本で就職するかどうかは、はっきりしていないとの事、国際状況が不安定な中、故郷にいる両親の事も気になるようです。

北地区の交流会では、Zoomで他の4人の留学生とも交流し、自分の考えを述べている姿はとても新鮮でした。コロナ禍の中での留学生が望んでいる事はまさに交流そのものであることがわかりました。

沖縄の渡嘉敷島に行った時の、きれいな海を見ながら寛いでいる写真を送ってもらいました。今まで見たことがない彼女の素顔にふれた感じがしました。まだまだ知らない彼女の姿がそこにはありました。



陳紫薇さん

よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。

このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援して頂けます。

ご協力をお願いします。

税制上の優遇措置など詳細は「よこはま夢ファンド」で検索して当該のホームページをご覧ください。（企画委員会）





日本語個人支援

海外経験と日本語支援

南地区 上前 至

今から30年程前、私は教会牧師の仕事で米国ロサンゼルス日本人教会に赴任しました。子供達はそれぞれ高一、中三、一番下の長男は小学4年生でした。家族と共に赴任したのですが、親は仕事で止むを得ないとしても、ついていく子供達にとっては、親の都合で行く羽目になったことから、ある意味、はた迷惑な事でもあったろうと思います。案の上、次女が登校拒否となり、どうしたものかと思ひあぐねてしまいました。その頃、丁度、カナダのトロントに移る話が出て、どうせならこの際、カナダも一緒と思い、思い切ってカナダ・トロントに移りました。その決断が良かったのでしょうか。そこででの生活で子供達の生活のみならず、英語学習も立ち直り、立派に成長、一人は米国、二人はカナダの大学を卒業することができました。現在は皆、日本に帰国し、それぞれ社会人として活躍してくれている事を感謝しています。

しかし、これらの事もカナダにおいて多くの移民を受け入れ、それらの移民に対し、手厚く第二言語としての英

語教育支援システムの仕組みを国として立派に整え、語学学習に力を入れてくれていた結果であったと思い、今でも心から感謝しております。

今回、私が、日本語支援に微力ながら応援させていただいているのも、そうした異国において家族共々、助けられた経験があり、それを今度は、日本という異国に来て日本語を学ぼうとされている方々に少しでもお返しできたらという一念で引き受けさせていただいたという事です。幸い私が引き受けている学生さんは、パラグアイからの国費留学生で学ぶ意欲も強くあり、オンラインで一週に一度、2時間程という事で日本語学習を続けています。時にはお国自慢をし、時には家族の状況を話しあったり、授業とは全く離れた話題を提供したりしながら、楽しい時間を過ごしています。彼は将来、日本において就職を希望しており、いづれそうした事においてもお手伝いできるような事があればと希望しております。



レベルアップに向けた日本語支援

東地区 細井 達朗



RKKにて日本語支援を初めてから10年程になりますが、その間、8人の留学生を相手に支援してきました。その中で、就活のため簿記2級の資格を取りたいとの理由で日本語と同時に簿記の勉強を支援した学生から、日本に留学したものの就職に関しては、当初、日本以外の場所を考えていたが、来日後、日本での就職も選択肢に入りたいと日本語のビギナーレベルから教えて欲しいといった学生まで広範囲に及んでいます。

語学全般にわたり支援するには時間が限られている中、すでに母国である程度の日本語スキルを取得済の学生はともかく、そうでない日本語初心者に対する支援については、いろいろと試行錯誤しながら本人の希望も交えてレッスンを進めています、基本的には在学

期間内に少しでもレベルアップを感じてもらえるよう教材の選定や本人の理解度評価を英語対応などにより確認しながら行なっています。

直近では、教材として文化庁が作成した「生活者としての外国人」のための日本語学習サイトを利用して使用場面ごとのストーリー性を持たせた動画による話法習得や日本語テキストで馴染みのキャラクターが主人公で、日本で初めての社会人生活を送る内容の「小説 ミラーさん」を利用した読解などによりレッスンを進めています。

殆どの留学生は第一に日本の大学で専門分野を極めるために来日しているわけで、私達ボランティアは自分のできる範囲内で側面から支援して留学生のその目標達成に向けての一助になるならば、お互いの満足感を得られるものと考えています。



トピックス

KANAFAN フェスティバル参加記

深水 智明

かながわ国際ファンクラブ（かなファン）主催で、神奈川県内の留学生、留学生支援団体を招待し、フェスティバルが3月2日にオンラインで開催されました。参加者数は71人（その中、留学生は42人）の参加がありました。

交流会は、まずエンターテイメントとして、クイズ大会、YouTuber（ノルウェー人の有名なクリエイター）のトピックス、折り紙体験などが催され、楽しめました。その後、留学生支援団体（RKK、KSGG、中国留学生援護会、日中友好協会青年学生部会など）の活動紹介、そして、数人ずつブレイクアウトルームに

分かれて、留学生との交流会がありました。私のルームでは留学生6人と近況などを話し合いました。少しの時間でしたが、有意義でした。この6人の出身は、中国、タイ、カンボジア、シンガポール、マレーシア等で、横浜国立大等の留学生も参加していました。RKKからは永作さん、平澤さんも参加されました。



《写真はかなファン提供》



ひらつか市民活動センター「シニアのマッチング交流会」に参加

湘南地区 平澤 映二

3月21日にひらつか市民活動センター主催のイベントである「生まれボランティア！シニアのマッチング交流会」に参加しました。7団体の参加がありました。ボランティア活動に興味のある市民7人が各団体の活動内容を聞いた後に、興味のある団体のテーブルにこられ団体の担当者から説明を受けていました。

RKKのテーブルにも個人で海外の方と交流している人がこられ、情報交換することが出来ました。コロナ下で参加された市民は少なかったですが、有意義なイベン

トに参加することができました。

RKKの参加者は私の他に佐々木、深水の皆さんでした。

なお、この交流会模様はYouTubeにも掲載されました。



賛助会員の皆さま：ご支援ありがとうございます。

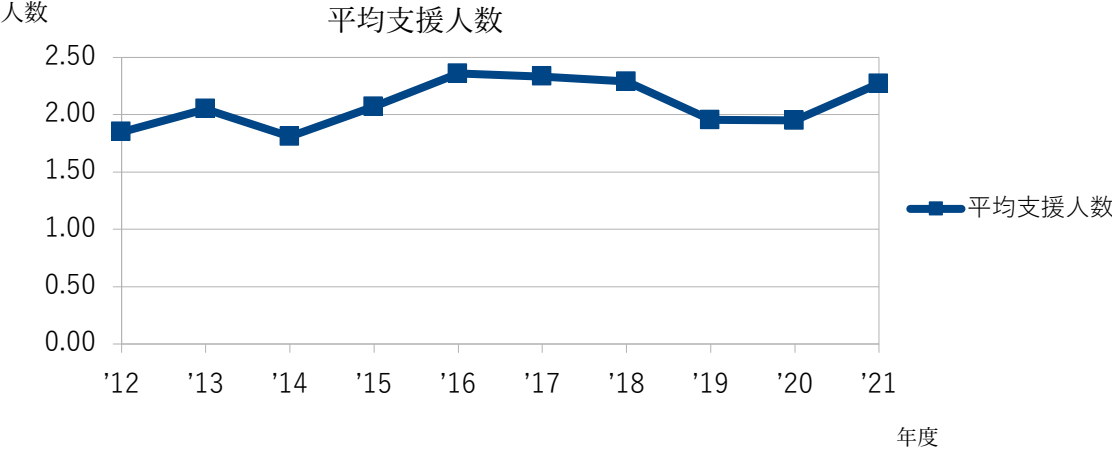
小久保佐恵子、杉田あずさ、佐々木紀長、周 亜萍、山田 実、塚越富士雄、高林信子
(敬称略)

新入正会員の皆さま：よろしくお願ひします！

金井大悟（鶴見区）再入会、嶋野礼子（藤沢市）

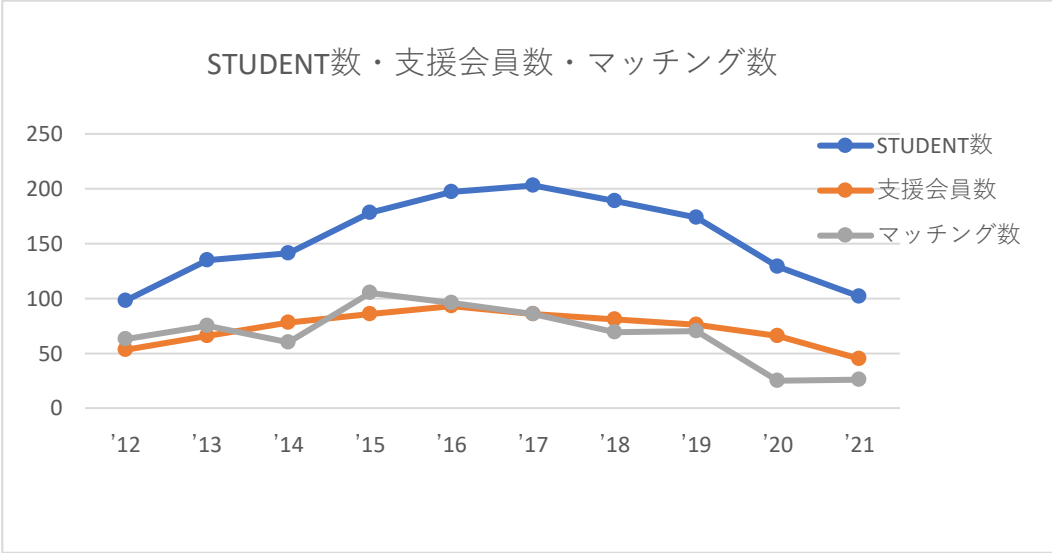
マッチング情報

- ・2012年度から、2021年度までの日本語支援状況の推移を図示しました。
- ・人数等は、すべて延べで数えた数です。
- ・ここ2年は留学生の来日数減少が数字に表れています。



年度	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21
平均支援人数	1.85	2.05	1.81	2.07	2.36	2.33	2.29	1.95	1.95	2.27

STUDENT数・支援会員数・マッチング数の推移



年度	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21
STUDENT数	98	135	141	178	197	203	189	174	129	102
支援会員数	53	66	78	86	93	86	81	76	66	45
マッチング数	63	75	60	105	96	86	69	70	25	26

趣味の窓

似顔絵

岩瀬 暢男



「岸田文雄 Fumio Kishida」



ずぼら趣味 川柳 & 似顔絵

西岡 誉富



WHO 緩和に懸念 対コロナ

高齢者 今後もワクチン 打ち続け

フレイルを 節酒、歩数で 回復し

マスク顔 挨拶されて となたさま

年金減 ステイホームを 後押しし

核もため 国が不当に 脅かされ

(たかよし)



趣味の窓

人生の応援歌

村田 威雄

私が初めて覚えた歌は、小学校3年のときに集団疎開先の湯河原で、薪探しの時に歩きながら皆と一緒に歌った**箱根八里**だ。この曲は歌詞が長く、息が切れる。でもこの歌に励まされて杉林の中を歩き回って薪を集めた。この時代は軍歌が盛んだった。**軍艦マーチ**は子供にも分かり易く、よく聞いた。**陸軍分列行進曲**は短調の部分があるため、重々しく、かつ悲壮感が漂うが、好きな曲だった。

戦後の混乱期には笠置シズ子の**東京ブギウギ**を聞くのが楽しみだった。とても明るい曲で面白がって口ずさんだものだ。春日八郎の**お富さん**も調子のよい曲で、商店街のスピーカーから「**死んだはずだよお富さん**」が丘の上の家まで流れてくる。歌詞はともかく、気分を朗らかにしてくれた曲だった。高校では校歌をちゃんと歌えないと家に帰してもらえなかった。久しぶりにネットで水色のワルツで有名な高木東六作曲の**校歌**を聞くと、当時のおおらかな校風を思い出す。

民謡は音楽の原点であり、人々をまとめる力がある。印象に残っているのは茨城の**網のし唄**である。労働歌の一種だと思う。破れた網を繕いながら歌うのだそう。また、**磯節**は茨城の誇る、日本三大民謡の一つである。いずれも元気をくれる音楽であるが、今歌おうとしても息が続かない。

歌姫ジェシー・ノーマンが黒人霊歌をアンコールで歌ったとき、もらった花束を握りつぶさんばかりにし

て、絶唱した。彼女にとって黒人霊歌はゴスペルとともに心の糧なのだと思った。**深い川**を聞くとしみじみとした気持ちになる。民謡、ゴスペルともに人々からわき上がった曲であり、普遍性を感じさせる。

国歌は応援歌にもなる。すばらしいのはフランス国歌の**ラ・マルセイエーズ**だ。歌詞は判らなくとも人々を奮い立たせる力が有ると思う。シベリウスの**フィンランディア**は国歌ではないが、ロシアが演奏を止めさせた曲として有名である。この曲の中間部にある**フィンランディア賛歌**は人々の知性を思わせる。

ところで、以前支援していたベトナムからの留学生を思い出して、ベトナム国歌の**進軍歌**を聴いてみた。進軍歌といっても、どちらかと言うとゆったりした感じの力強い曲である。この曲はベトナム戦争で戦う兵士を鼓舞し続けたという。ミャンマーからの留学生を支援しているので、ミャンマー国歌「**世界の終わりまで**」を聴いた。前半が伝統的音階の民族音楽、後半が2/4拍子の行進曲という珍しい構成の曲である。前半で民族の心、後半でその勇敢さを歌っていると思う。

最後に心の安まる曲として、ヴォーン・ウィリアムズの**グリーンズリーブスによる幻想曲**と平井康三郎作曲の**平城山**を挙げたい。前者は短調で書かれた部分があって、歌はない。陰陽の混ざった不思議な曲だが、何か心が落ち着く。後者は3分足らずの短い曲でメロディが簡潔だ。鮫島有美子の歌った作品は切々とした調べの中で、ふるさとの原風景を彷彿させる。彼女の折り目正しい歌いっぷりに心を奪われる。

留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・日常会話(Daily Conversation) ・ビジネス会話(Business Conversation)
- ・卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Thesis & Report)
- ・新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・就職活動 (Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田 (Tsuda) e-mail: sakura_tudakei@ybb.ne.jp
Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

趣味の窓

写真

深水 智明



「朝日に光る夏の花信」



「木漏れる朝日に香る」



山口 孝一



「春を迎えた残雪の富士」

芝桜のジュータンが綺麗な
「富士本栖湖リゾート」の春です



「里山ガーデンの春」

家の近くにある「里山ガーデン」の大花壇は
花の香りで溢れていた



学生(日本人)および留学生への就活・キャリア支援の経験から

キャリア支援委員会 深水 智明

産業界が学生に期待する資質、能力、知識に関するランキングは、①主体性、②実行力、③課題対応力、④協調性、⑤論理性などが全 20 項目中、上位にあります(経団連、2018 年調査)。他に理系では創造性、文系では社会性に強い要望があります。なお、理系での専門的・基礎的知力は 10 位です(詳細は紙面の都合上割愛)。この傾向を経団連のコメントを合せて考えると、専門的・基礎的知力は大学生の当然の能力の対象であるが、企業にとって学生に主体性、実行力等の能力も必要であり、学生の関心が薄く不足しているためと推察されています。

一方、留学生が就職のために努力してほしい点は、①日本語能力、②日本企業における働き方の理解、③業界研究・企業研究(下表)とされています(文科省、2021 年調査)。文科省等は、上記への対応に将来性や潜在能力の評価、広範囲の職務能力等の向上が必要とし、ビジネス日本語、キャリア教育(日本企業論)、中長期インターンシップ等の推進を期待しています。

大学における長年の就活支援、キャリア対応およびビジネス教育(理系の事例)において、学生が就活に当って、専門的学業中心から唐突に社会的対応を迫られるも、それに追いつかない状況に多く遭遇しました。経団連等調査の企業ニーズについて、専門家は専門的・基礎的知力、論理性等をハードスキル、主体性、実行力、協調性・コミュニケーション能力、社会性等をソフトスキルと区分しています(森岡、岩波)。即ち、大学ではそれ程に重要視されないソフトスキルが就活に際し突如、クローズアップされる状況です。文科省等の調査でも日本企業が就職に求める留学生の能力もソフトスキルが多くあります。

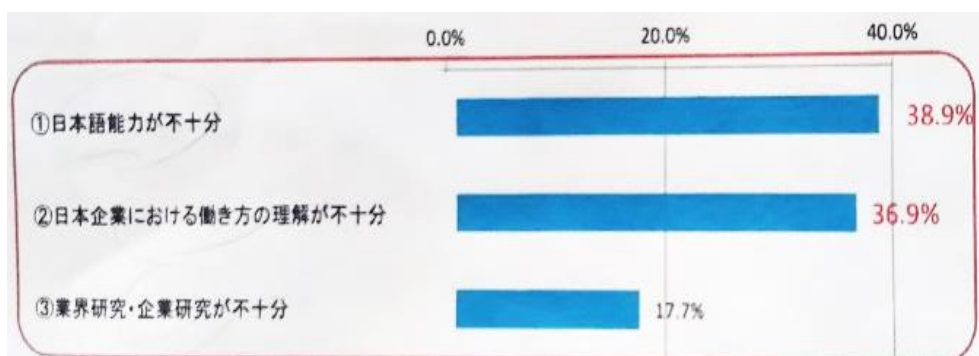
RKKには、企業活動を経験されたキャリア経験者が多くおられ、ソフトスキルにも長け、キャリアアドバイザーに相応しいと考えます。大学ではソフトスキル面の教育には対応できず、殆どが学生任せの状況で、社会経験の多い会員皆様方がより適任かと考えています。

大学での経験で、キャリアアドバイザーとは、学生にソフトスキルを意識させる役目と知りました。また、企業時代における仕事の取り組み方など具体事例による説明が学生にキャリア面を理解してもらう一助になることも多く経験しました。

就活のプロセスでは、ES(エントリーシート)における説明、面接など具体的なことが問われます。ソフトスキルの考え方は、ES作成や面接等の対応でも活きました。ソフトスキルは仕事力の大きな部分を占めていると言われており、キャリア育成にも有効でしょう。有識者によれば、ソフトスキルの根源は、感情知能(感情の利用能力など)、態度的能力(コミュニケーション、意欲性など)にあるとされています。これらへの対処は非常に難しい課題です。ソフトスキルへの対応について、キャリアアドバイザー間では、ソフトスキルを習得するには、社会慣習や感情知能への対応(その一部が相互理解への努力、そのためのマナー、言葉使い等々)であり、さらには、“教養”(思考力の源泉)を深めることが望ましい等の意見がありました。

留学生への就活・キャリア支援に皆様の経験を活かすこと、それは就活のテクニックのみならず、留学生が日本の社会や企業を理解する上で有意義であると期待されます。

企業から見て外国人留学生が就職活動で改善してほしい点は



おもな活動 (2022/2 から 2022/4 まで)

スタッフミーティング

- ◇ 4/3 午後、サポートセンターR711 にて 14 人のスタッフの参加のもと、2021 年度第 4 回スタッフミーティングが行われた。12 月の第 3 回と同様に、対面式会議となり、活動グループ、地区交流会、委員会からの C&C (報告・連絡そして相談) を実施した。新年度への対応・抱負などオープンに論議した。

活動グループ

- ◇日本語支援 G: 一対一の留学生への日本語支援は、オンラインを主体として継続的に実施。新年度の活動として、日本語の教え方講習会、日本語スピーチ大会をどのように対応すべきかを検討。
- ◇文化・ファミリー交流 G: 4/2 にオンラインによるお花見を実施。留学生 6 人、会員 13 人が参加し、桜の写真、絵画、料理の披露および留学生からのお国の紹介があった。
- ◇中国語学習 G: 3 月に講師が交代。10 人が受講のもと週 1 回の ZOOM オンライン授業を継続。
- ◇社会・工場見学 G: 約 20 年間の RKK 社会・工場見学会の記録を電子ファイルとして編集。

地区交流会

- ◇東地区 : 3/13 に、オンライン交流会を実施し、10 人が参加。
- ◇西地区 : 1/30 に、11 人がオンラインに参加して交流会を開催。
- ◇南地区 : 1/15 に、6 人がオンライン交流会に参加。
- ◇北地区 : 4/17 に、鶴ヶ峰の「みなくる」で対面式交流会を開催。9 人参加。
- ◇中央地区 : 3/27 に、カナファンにて 6 人で、久しぶりの対面の交流会を実施。
- ◇湘南地区 : 3/23 に、6 人が参加してオンライン交流会を実施。

委員会

- ◇会員委員会 : 会員名簿の更新、マッチングの実施。
- ◇広報委員会 : RKK ニュース 87 号の編集。PDF の配信を主体とする。
- ◇キャリア支援委員会 : 3/10 に第 8 回オンラインで読書会を実施。
- ◇企画委員会 : 新規事業のベトナム語学習講座は 9 月の開始から 8 ヶ月目に入った。11 人が受講中。
- ◇会計委員会 : 立替支払い処理、収支決算作成、年会費徴収
- ◇ICT 推進委員会 : オンライン支援のアンケート調査結果の分析、今後の活動施策を検討。
- ◇事務室 : 事業計画作成準備、スタッフミーティング開催準備。

NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先 : 〒245 - 0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

E メール : rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax 045-813-8327

ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集 : RKK 広報委員会 春号担当 杉田慶子 April 26, 2022

無断転載をお断りします